

勝林寺寺報

お輕さんに学ぶもの

いまから百数年前、山口県下関市の沖の大連島に、お輕さんという深い真宗信心に生きた人がありました。このお輕さんは、若いころ人生に悩んだあげく、真宗の信心にめざめて、そのち法味あふれる信心生活を送った人です。かつてその百年忌の法要がいとなされたとき、その徳をしたつて、日本の各地からお参りする人がありました。あまりにも多くの人々が集まりましたが、あまりにも多くの人々が集まりましたので、島のある老人が驚いて、「こんな人が来られたのでは島がしづんでしまう」といつたという、話さえも伝わっているほどです。このお輕さんの信心が、いかに後世に大きな影響をおよぼしているかを明かす物語でもあります。

そのお輕さんにこんな話があります。毎年のように夏になると、お輕さんは島のあちこちをたずねて蓬(ヨモギ)をとつておりました。島の人々は長くのびた夏の蓬をつんで何にするのだろうと不思議に思つておりました。お輕さんは、そのとつてきた蓬を仏壇にお供えしていったのです。蓬というものは、とても水揚げが悪くて、お花に生けても、すぐにしおれてしまうのです。そこでお輕さんは、わざと水揚げの悪い蓬を仏壇に供えて、毎日のように、そしてまた一日に何回も、お花をたてかえていたといふのです。みずからの懈怠の心をいましめつつ、いつも仏に身近く生きてゆこうと願つたわけでありました。私は、この話を聞いたとき、ほんとうに心をうたれました。そしてお輕さんが、

いちばん深い真宗信心に生き続け、後世においても、多くの人々に慕われる理由を、はつきりと教えられたという思いがいたしました。

まことに、仏壇をこそ大切に、仏壇を日々の生活に基軸にしてこそ生きねばなりません。真宗における称名、聞名の仏道とは、何よりも、この仏壇中心の生活においてこそ、成就してゆくものであることを思うべきであります。『安心決定鈔』という本に(朝な朝な仏とともに生き、夕な夕な仏をいだきてふす)という言葉がありますが、それはまさしくこのことを教えるものであります。

それぞれの家庭の仏壇の前に、まず一枚の上等な座布団をおきましょう。そして、悲しくても、うれしくとも、とにかくにも、この座布団に座ることをこころがけましょう。この一枚の座布団を、大事に大事にして、田ぐらししてゆきたいものです。

(信楽峻磨遺稿法語集より引用)



秋の彼岸会法要

厳しい暑さに耐えたおかげで、ようやく訪れた朝晩の涼しさが、まるでご褒美のようを感じられます。束の間の心地よい涼しさの中、彼岸会をお勧めいたします。ぜひ、ご近所お誘い合

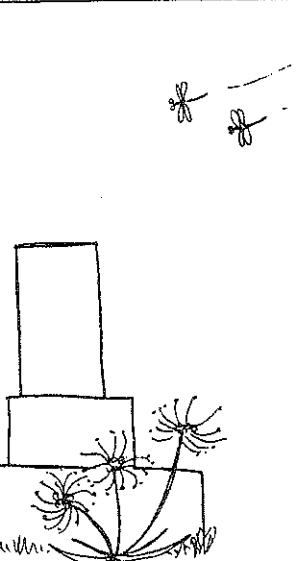
わせてお参りください。お待ちしています。

日時 九月一十三日 水曜日 秋分の日

午後二時より

**内容 お勤め 正信傳
法話 勝林寺住職**

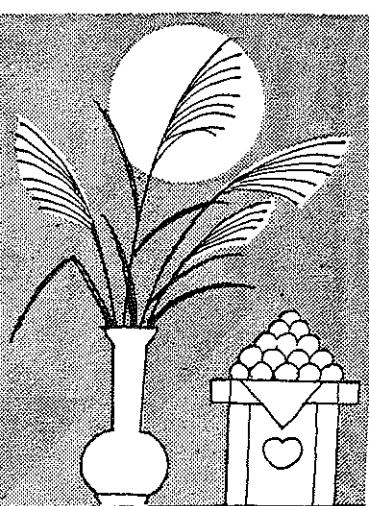
一五日(火)	淨蓮寺前坊守 三回忌法要
一六日(水)	兼井通夫宅 七回忌
一七日(木)	彼岸会 合同役員会
一八日(金)	中川利道宅 七回忌
一九日(土)	田中重雄(小田)宅 七回忌



前進座観劇

神戸別院竣工二十周年を記念して、「如月の華」—九条武子物語—が、神戸文化ホールにて上演されます。観劇を希望されます方は、寺報と共に配布されました申込用紙に必要事項を記入の上、寺までお知らせください。

九条武子さんは、本願寺二十一代門主・明如意の次女であり、大正の三大女流歌人の一人であり、仏教婦人会を創設された方です。



(敬称略)

九月 勝林寺 予定

トネ内

六日(日) 大石伯幸 忌明

一一日(土) 大石和美宅 一周忌

一三日(日) 平野克彦宅 忌明

一四日(月) 龍谷大学臨床心理学科

シカバレー見学

みのりを聞く会

信楽峻磨先生 一命日

二七日(日) 第三回 出石組連研(本覚寺)

一五日(火) 浄蓮寺前坊守 三回忌法要

一六日(水) 兼井通夫宅 七回忌

一七日(木) 彼岸会 合同役員会

一八日(金) 中川利道宅 七回忌

一九日(土) 田中重雄(小田)宅 七回忌

葬儀
八月三日
豊岡 大石 比呂子様 七十一歳

日時 十月十九日 月曜日

*出石組より大型バス二台で行きます。

私の生きてきた昭和⑩戦争体験

昭和二〇年、正月休みから続けて学校を休み、私は報恩講参りをしていました。

私は兵隊検査では、名誉ある(丙種合格)でした。みんな体か心の機能に何らかの欠陥を抱えている人ばかりでした。私は、眼疾。ひょつとしに召集令状が来ました。何の感動もありませんでした。出石町役場の前で大勢の人に見送られ、バスで鳥取に出発しました。ちょうど、私の寺には、神戸から疎開児童が来ていましたし、初午のサークスの楽隊の勇壮な演奏もあって、未曾有の派手な出征セレモニーでした。

出石からは、一、三人が同時に入隊しました。

鳥取の旅館に一泊して、翌日に鳥取連隊に入隊しました。以来、毎日鳥取砂丘で防毒マスクをつけて走り回る過酷な訓練が続きました。それがしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)。人間のものはあります。その上官・下士官が、八月一五日の玉音放送を聞くや否や、めぼしい軍隊貯蔵の物資を皆せんでした)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

こに至るまでに怪我や病で死んだ人もいたのです。村に着くやその日から、高知の町まで、車を引いて食料や弾薬などを輸送する日々が始まりました。八里の山道を午前中で往復、午後に

コで谷底まで下ります。ここでも、何人かの期待もありました。しかし、四月の初旬にわたくしに召集令状が来ました。何の感動もありませんでした。出石町役場の前で大勢の人に見送られ、バスで鳥取に出発しました。ちょうど、私の寺には、神戸から疎開児童が来ていましたし、初午のサークスの楽隊の勇壮な演奏もあって、未曾有の派手な出征セレモニーでした。

出石からは、一、三人が同時に入隊しました。

鳥取の旅館に一泊して、翌日に鳥取連隊に入隊しました。以来、毎日鳥取砂丘で防毒マスクをつけて走り回る過酷な訓練が続きました。それがしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

煩惱の嵐の中にも 念仏において 本願の呼び声が 韶ええてくる

煩惱の嵐に吹かれてここまで来たことは、紛れもない無い事実です。思い通りにいかないこと

とわかつていても、何とかその壁を乗り越えようと励む日々です。その多くは自身の欲望の満足のためと言つても差異はありません。浅ましく、お恥ずかしいと知りながら、そこから抜け出そうともせず、さらにもつとよくなる手だけがあるのですと迷路に踏み込む私です。(中略)

あらゆる煩惱をなくすことなくそなえている(煩惱成就)私であると気づいたオ市さんは、「さいかじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

どすん

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

力のお陰で、今年も、子ども研

修会を開催することができます。

してくれた一歳の男の子、上は、

五年参加表彰を受けた六年生の

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

力のお陰で、今年も、子ども研

修会を開催することができます。

してくれた一歳の男の子、上は、

五年参加表彰を受けた六年生の

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

力のお陰で、今年も、子ども研

修会を開催することができます。

してくれた一歳の男の子、上は、

五年参加表彰を受けた六年生の

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

力のお陰で、今年も、子ども研

修会を開催することができます。

してくれた一歳の男の子、上は、

五年参加表彰を受けた六年生の

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

力のお陰で、今年も、子ども研

修会を開催することができます。

してくれた一歳の男の子、上は、

五年参加表彰を受けた六年生の

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日かかったのか定かではありませんが、ようやく、高知県の天坪につきました。実は、そ

力のお陰で、今年も、子ども研

修会を開催することができます。

してくれた一歳の男の子、上は、

五年参加表彰を受けた六年生の

男の子と女の子。総勢一八名の

戦友が事故死し、山奥で火葬にしました。この

過酷な毎日の中、普通の人間の感情も理性もみ

示命令のまま動くだけしかありませんでした。

そのうえ、軍隊は、激しい階級いじめ社会で

した。日本の軍隊は、おおかた農村の出身者で

占められていました。干ばつや経済恐慌などで

慢性的に疲弊した農村を抜け出し、軍隊が希望

した。だから、彼らは、親のすねを

かじって、ぬくぬくと出世していく中・大学生

は、鼻向けならぬ社会の毛虫です。そのけしからぬ学生もほとんどがすでに特攻など学徒動員で戦場に駆り出されていました。その学生のうちは、なんとも情けない丙種合格でやつてきた私がしばらく続いた後、何の予告もなく、目的地も教えられないまま、汽車に乗せられ、ついたところは、広島連隊でした。広島城の下の練兵場へ連れていかれ、軍馬の世話と空襲に備えての避難訓練を繰り返しました。(馬の防空壕は川渕の土手にありました)一度は、軍服なども支給されました。アメリカ軍に沖縄を占領されたということでも、服もその他の装備もすべて取り上げられ、全くの丸腰にさせられました。それでも、私は、しばらくして幹部候補生の訓練を受けさせられたのち、四国高知へ転属となりました。空襲で燃え盛る岡山を通過して、アメリカ軍の襲撃を受けながら、宇高連絡船で四国にわたりました。鉄道は、みな全滅でしたから、馬に荷物を積み、大歩危小歩危の渓谷を必死の思いで行軍し、さて何日